

Do! ボランティア

16



思いやりの心をはぐくむ

明るい社会づくり推進協議会



私たちは明るい社会づくり推進協議会は、ボランティア団体に仲間入りしてから、早いものでもう30年近くがたちました。最近では暗く悲しいニュースが多く、不安な世の中になってしまいましたが、こういう時代だからこそ、思いやりの心を育てるボランティア活動が必要だと感じています。現在の会員は10人で、微力ながらも少しでも地域が明るく、住みよい環境になればと考え頑張っています。

毎年5月は、ご家庭で使用されていない毛布を寄付してもらって、アフリカへ送っています。24年間続けているこの活動は、1984年、アフリカがいまだかつてない大干ばつに見舞われ、エチオピアだけでも100万人を超す人々が尊い命を落とした際に、全世界を挙げて援助を行おうと始まりました。今年も旭市から100枚の毛布を送りました。1枚の毛布が、日除けに産着に、そしてコートになる。そんな活動を今後も続けていきたいです。

また5月と9月には、区の人たちと一緒に仁玉川沿いの草刈りや、その周辺の道路・神社・グラウンドなどの空き缶やごみ拾いをして、心地よい汗をかき

ています。ふれあいあじさいロードには、レジ袋に家庭ごみを一杯詰めて捨てられていて、衛生上もよくありません。自分ごみは、自分で定められたところにきちんと捨てる良心を皆さんに持つてほしいです。

ほかに、1人暮らしのお年寄りのお宅を2、3か月に1回訪問しています。訪問するたびに思うことは、皆さんとても元気です、友達とカラオケを楽しんだり、お茶を飲んだりして楽しく過ごしていっていることです。中には、畑で野菜作りに一生懸命な方もいて、帰るときにおみやげにネギを頂戴し、訪問した私たちが逆にパワーを頂いてしまうこともたくさんあります。

人は皆、いつかは老いていきます。まして1人で暮らしていると、不安だったり寂しかったりするときがあると思います。そんなときに、私たちが健康に感謝しながら、「お元気ですか?」の声かけ訪問活動が続け、コミュニケーションをとって、共に生きていければと思っています。

〈問い合わせ先〉

旭市社会福祉協議会

☎ 57-5577